

谷田部東中通信

学校便り N08
令和6年1月25日
つくば市立谷田部東中学校

大寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃より、本校教育活動にご理解、ご協力いただき感謝申し上げます。

新しい年を迎え、新たな目標を胸に学校生活が始まりました。9年生は、現在は県立高校受検に向け一生懸命に学習に取り組んでいます。7、8年生は定期考査に向けて準備をしているところです。短い期間ではありますが、立志式や授業参観などの行事も予定されています。

残り少ない時間を大切に、今年1年の締めくくりができるように振り返りをしっかりと行っていきます。そして、新年度に向け一人一人が夢と希望をもってスタートを切ることができるように支援してまいります。

◎今年度3回目の校内授業研修を行いました。

今年度の研修テーマ「対話を通して深い学びを実現するための授業改善の在り方」をもとに3回の校内研修を行いました。

今回は1月22日(月)の6校時に茨城大学より、打越正貴先生と宮本浩紀先生をお招きして授業を行いました。8年5組では、野口教諭が国語科の「走れメロス」を題材にして、物語の描写から登場人物の人物像に深く迫り、それぞれの心の動きについて考える授業を展開しました。いろいろなグループの発表や考えに触れ、自分の考えと比較することで、考えを深め物語の良さを味わうことができる内容でした。8年3組では、道官教諭がつくばスタイル科において、「自己の生き方について考える」をテーマに学習を行いました。大人になったとき、自分には何ができるだろう、なりたい自分に近づくために何が必要だろうなどについて思考ツールを活用して考えることができました。また、友達との意見交流を通して、新たな気づきや発見もあり、将来の自分のために今できることについて考えを深めることができました。講師の先生からは、子どもたちの思考を深めるためには、「なぜ? どうして?」と疑問をもつことができるような問いかけが大切であると助言を頂きました。これからも子どもたちの深い学びを実現することができるように研修を進めていきます。



◎8年生が調理実習を行いました。

家庭科では、8年生の調理実習が始まりました。今回の献立は、「肉じゃが」です。生徒は材料の下準備を友達と協力をして行いました。ジャガイモの皮むきや肉の下味付けなど、日頃、自分でやることのない作業に緊張しながら取り組んでいました。火加減や煮汁の量などにも注意を払い、おいしい肉じゃがを完成させることができました。仲間と協力して作った肉じゃがの味は絶品で笑顔がこぼれていました。最後は、きちんと片付けを行うこともできました。ぜひ、この経験を実生活にも生かして欲しいと思います。



◎7年生が茶道体験を行いました。

室町時代から発展を続け、受け継がれ、今や世界的にも人気となった日本の茶道。その魅力は、抹茶の味わいはもちろんのこと、わびさびを味わう禅の精神性やおもてなしの心につながるものです。1月23日(火)のつくばスタイル科で、日本の伝統文化に触れ、よさを味わうため、茶道体験を行いました。講師の先生がお茶を点てている間、子どもたちは茶せんやひしゃくの動きに目を凝らし、ピンと張り詰めた空気の中で、集中して見学することができました。見学の後は、実際にお茶を点て、お菓子を味わいました。茶せんの動かし方やお茶の味わい方などの作法について理解を深めました。お茶の香りやのどごし、緊張感など全てが日頃体験することのできない貴重なものでした。



◎谷田部東勉強ダービーがはじまりました。

1月23日(火)～2月7日(水)の期間に全学年のクラス対抗で、一人一人が自主学習として勉強した時間の合計を競い合う谷田部東勉強ダービーを行っています。生徒会役員から生徒みんなの学習意欲を高めるためにできることはないかと考え出されたアイデアです。「7・8年生は定期テストに向けて、9年生は受験に向けて頑張ろう」をスローガンに現在、取り組んでいます。ご家庭でも、机に向かい学習に励むお子様に励ましの声をかけていただきたいと思います。